

第8回 これからのコミュニティ施策の基本的考え方多摩区区域レベル取組検討会結果概要

- 1 日 時 令和元年9月13日（金） 午後7時～9時
- 2 会 場 多摩区役所11階1102・1103会議室
- 3 出席者 委員32人、区役所職員3名
- 4 資 料 別添のとおり
- 5 結果の概要と出席者の主な意見

【これまでの振り返り】

- 第7回検討会以降の振り返りを行った。

（会議の進行について）

- 今日の議題について、これだけの資料を短い時間でやるのは難しい。
- 資料確認の期間が1日しかなかった。ここで腰を据えてやらないと漏れが出る。
- 把握した意見について、中間取りまとめへの反映が必要か、必要であればどういう内容で反映させるか。進め方の段取りを決めないと。

【多摩区フォーラム及びインターネット等を通じて寄せられた意見について】

- 同系統の意見をまとめることはできないか。討議するにしても読み切れない。系統だけでなくフェーズについても整理してはどうか。
- フォーラムの参加者から受けた印象として、それぞれがSDCの概念をつかみきれていないと感じた。何をやるのか明確にしては。
- 運営、サービスなど全体の切り口、議論する予定を共有して進めるべきである。
- SDCの概念を自分達がうまく説明できない。
- これだけ意見が出たことに感動した。この方たちに少しでも関心をもっていただいたことは成果。SDCが具体的に何をするかを書いている。これからの議論はそれを見て。
- 中間とりまとめには、区として説明した内容と検討会で議論した内容が混在している。区として説明した部分について今後検討会でじっくりやっていくとなると、今の段階で次第2の議論には進みにくい。
- 資料2は、フォーラム等でいただいた意見を反映した開設案のたたき台。中間とりまとめの内容から変更した箇所については下線を引いている。
- 盛り込めていない切り口はあるのか。
- その点も含めて足りないところがあれば議論してもらいたい。
- SDCとは何か。何故いま問題となっているのか、何かが失敗したからか。
- 中間とりまとめは最大公約数的にうまくまとめられている。全体的にはこの流れで最終案に持って行ってよいと思う。これまで議論してきた内容が取り込まれており、自信をもって意見交換したらよい。
- まとまっているとは思いますが、SDCがどんなものかと言われた時にどうか。誰かに説明するとき、説明された人が違う考えを持ってしまうのはどうか。
- 資料2の内容は事務的にはよくまとまっている。9つの具体的機能を深く議論すれば他は自ずと決まる。

- 開設案の項目1・2を話してない。段取りされずに議題の2番にとびのが納得いかない。検討会ではこれまで開設理念と基本的機能の9項目しか検討していない。
- 資料1の検討会以外の人の声はとても重要。仕分け・分類して進めた方がよい。
- 共有するところがばらばら。資料1のまとめ・グループ分けをしないと、ここでできない。今日は皆の知識を共有する地ならしと捉えて次回に臨んでは。
- SDCについてお答えすると、多摩区オリジナルの中間支援組織。それをみんなで考えて作ろうということ。
- 開設案の項目1・2について話していないという声もあるが、進め方は開設案の項目4の議論を中心に進めた方がよい。
- 資料の作り方、熱意は伝わるが、区の責任編集でもう少し読みやすく分かりやすくしたほうがよい。問題がないかは細かい資料を読んで判断すればよい。
また、検討会に遅れて参加した場合の発言権や、進行について議長の指示に従うといった内容を会議のルールとして決めた方がよい。
- 次回に向けては、資料1を集約したものがベースでよい。盛り込めていない意見について分科会で精査したり個別に事務局に意見する形でもよいのでは。次回までほぼ一週間しかないので、スケジュール的には延期もよいのでは。喧々諤々、否定的な意見も飛び交うが、市民創発なのでポジティブな意見交換ができるとうい。
- 検討する範囲を絞ったらどうか。
- これからの進め方や資料の修正方法について、期限を切って意見をいただくということにするのか。
- 時間もないので区と次回の進行者に一任でよい。
- 次回は運営について話をする時間をとってほしい。
- 区に一任する内容は、資料のまとめ方と会議の進め方でよいか。
—反対意見なし—

◎ 次回検討会の司会進行をする委員を決定した。

—次回検討会の日時等について—

- ⇒ 次回は、9月22日（日）午後2時から開催する。